

## ■2021年度 宮古島市施政方針■

また、城辺地区においては、児童館機能や子育て支援機能および多世代が交流できる機能をもつ、城辺地区世代間交流施設の整備を進めます。各地に分散する公共施設については、公共施設等総合管理計画に基づき類似施設の統廃合および活用を検討します。平良庁舎の跡利用については、民間による産業振興等の総合的拠点としての活用可能性を検討します。

平和への取組については、市民、特に子ども達の恒久的な平和を希求する心が醸成されるよう、「児童・生徒の平和メッセージ展」を開催し、更なる平和の維持に努めます。なお、自衛隊基地・火薬庫等の課題については、市民の理解を得るため沖縄県知事と連携し、国に丁寧な説明を求めて参ります。

離島という地理的な事情から高コスト構造となっているガソリン等の生活必需品や生活資材の価格等については、航空運賃等の交通・物流コストへの輸送費補助について、国や県と連携して取り組んで参ります。



【東平安名崎】

また、超高速ブロードバンド環境を活かしたICT先端農業に取り組みむとともに、地元生産物の消費拡大と美味しさの普及のため、地産地消の取り組みとして地元食材の学校給食への活用を推進します。生産者の生活を安定させ、所得を下支えするため、国が実施する経営所得安定対策等の所得補償制度の活用に取り組みます。

さとうきびの安定生産と増産に向けて、種苗管理センターの新品种・優良種苗を農家へ広く普及することにより、反収および品質向上を図ります。

また、生産農家の高齢化に伴う労働力不足を解消し、持続的な生産体制を確立するため、ハーベスター等



【令和2年 野菜初荷式】



【野原サティパロウ】

### ③ 地域の宝の 次世代への継承

本市には、伝統的な文化、行事、祭祀等が存在し、その特性と多様性が魅力となって地域を想う心を育み、地域の大事な宝として受け継がれています。その地域の宝を次世代へ継承することにより、地域の活性化と均衡ある発展に取り組めます。

魅力ある文化の創造・発展のため、文化活動に参加する市民の拡大と関係団体への支援強化を図り、優れた芸術文化に触れる機会を創出し、活力溢れる地域づくりに取り組めます。市民総合文化祭や生涯学習フェスティバルの開催により、文化・芸術活動、学習活動の発表の機会を設け、新しい文化の創造や先人が培ってきた地域文化の伝承・発展を図り、本市の文化を広く発信していきます。

の農業機械の導入を促進するなど、さとうきび収穫作業経費の負担軽減に取り組めます。あわせて、新年度からさとうきびの収穫農家へ支援金を支給します。

園芸作物については、ビニールハウス等の園芸施設を設置する農家に対して補助金を交付し、生産振興を図ります。

農業の担い手の育成に向けて、認定農業者・認定新規就農者など中心的担い手へ農地の集積・集約化を図り、有効利用や農業経営の効率化を進めます。

新規就農者の確保に向けては、新規就農コーディネーターを配置し、就業支援を行うとともに、農業機械等の導入にかかる費用を助成し、定着を促進します。

農業基盤の整備については、生産性の向上や高付加価値農業への展開に必要な、ほ場整備および畑地かんがい施設整備を推進するとともに、農業水利施設の長寿命化や防災減災対策、農地の侵食防止対策、防風林帯施設の整備などにより、生産性の向上と経営の安定を図ります。

畜産業については、高齢化が進み離農による戸数・頭数の減少が続い

宮古固有の文化財については、伝説と民話に彩られた散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用します。

重要無形文化財である宮古上布については、振興発展を図るため後継者育成や芋麻手紡糸の生産奨励を継続して行い、生産拡大や技術の維持・伝承・発展に力を入れるとともに、販売促進に取り組めます。

地域の活性化には、地域を応援・支援する取組や人材の確保が必要であることから、ふるさと納税事業の推進によって本市への寄附金を募り、地元特産品や新たな商品開発等について寄附返礼品への活用に取り組めます。

地域の課題解決に向けては、地域の個性および資源を活かした「自主的で個性豊かな宮古島」を推進する地域づくり団体等が行う取組に対し、支援を行います。

また、地域住民のコミュニティの拠点でもある公民館等へイス・テーブル・音響機器等の施設環境整備の補助金を交付し、伝統行事等の促進につなげます。

環境の保全と持続可能な観光の両立へ向けて、「入島協力金制度」の創設を検討します。

ていることから、繁殖生産基盤の充実・強化に向け、優良繁殖雌牛の導入や自家保留に対し支援します。

また、家畜の疾病など不慮の事故を未然に防止するため、子牛の肺炎予防ワクチン費用を補助するとともに、分娩時の事故を防ぐため、監視システム導入費用を支援します。

水産業については、離島の販売・生産面等の不利性解消に向け、漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する取り組みを促進します。加えて、モズク網洗浄機の導入、伝統漁法である追い込み漁の継承、カツオ漁業の餌料確保などに対し支援を行います。

また、シヤコ貝や藻類などの養殖技術を漁業者と共有し、担い手の育成と漁業者支援を行うとともに、地下水など宮古の特性を活かした高技術の陸上養殖の推進に取り組む

### 4 農畜水産業の所得向上

第一次産業は本市の基幹産業であります。そのため、農畜水産業者の所得の改善に取り組むとともに、育成強化を図り、担い手育成のプロジェクトワンチームの結成に取り組めます。

離島における輸送の不利性を支援するため、県が実施している輸送費支援について、品目の拡充・継続に取り組めます。また、市が独自に実施している水産物の輸送支援の継続に加え、農産物の沖縄本島への輸送費補助を実施します。農畜水産物のブランド化と6次産業化の促進により加工技術の向上や販路の開拓を図るため「産業振興局（仮称）」を設置します。



【鮮度保持施設 モズク箱詰め作業】

安全な漁業・養殖業の生産活動のため、漁港施設の機能診断結果に基づき保全工事を実施するとともに、安定的な種苗供給体制の確立と生産性の向上支援のため、海業センターに研修施設を整備します。

### 5 離島医療の充実・支援拡充

本市は、離島県である沖縄の更に離島に位置しており、医療体制が脆弱であることから、地域完結型医療の確立のため、県との連携を強化しつつ、医療サービスの充実と包括的な連携体制の構築に努めます。

子どもたちの病気の早期発見と早期治療につなげるため、医療費の保険診療自己負担分を助成し、現物給付を実施するとともに、中学校卒業までの通院における医療費の無償化に取り組めます。

がん患者、難病患者の渡航費・宿泊費支援の拡充に努めるとともに、不妊治療への渡航費用の助成、子宮頸がんワクチン副反応被害者における医療費等の支援を行い、経済的・精神的負担の軽減を図ります。

また、市民の健康に対する意識改